



2系統の信号、プラス電源とマイナス（アース）を扱いますが、ジャックは3つの端子が出ています。プラグを差し込むと離れる端子があり、DCプラグを差し込んだ際に電池からの電力供給が止まるようになっています



DCプラグを外す

→DCジャックの基板9V行き端子と電池（+）行き端子が接続
→電池から供給された電流による動作となる

DCプラグを差し込む

→DCジャックの基板9V行き端子とDCプラグ（+）が接続
（DCジャックの基板9V行き端子と電池（+）行き端子が外れ
電池（+）行き端子から基板9Vへ電流が流れなくなる）
→DCプラグから供給された電流による動作となる

入力（インプット）ジャック・出力（アウトプット）ジャック

通常エフェクターでは入力に6.35mm（1/4インチ）ステレオフォンジャック、出力にモノラルフォンジャックを使います。取り付けネジ部分がプラスチック製（絶縁型）と金属製のものがありますが、エフェクターでは金属製のものでOKです。

ステレオジャック・プラグは3系統の信号があり、Tip（チップ、先の部分）、Ring（リング、輪になった部分）、Sleeve（スリーブ、根本の部分、アースにつなぐ）となります。ジャックによって端子の出方が違います（上写真）。よく見て（あるいはテスターで）どこどこがつながっているか確認しておきます。モノラルだとリングが無くて2系統になります。

エフェクターではインプットジャックにプラグを差し込むと電源オンとなるものが多いです。これは**ステレオジャックにモノラルプラグを差し込んだ場合に、ステレオジャックのリングに当たる部分がスリーブとつながることを利用しています**

具体的にはリングの端子に電池スナップのマイナスをつなげておいて、プラグをさした時だけ電池のマイナスがアースとつながるという具合です

